

物理

共通テスト初年度について

傾向

- 大問数は4問で、センター試験で導入されていた選択問題はなくなりました。原子分野を含むすべての分野から出題されており、マーク数は実質24と、2020年度センター試験の20に比べてやや増加しました。典型的な問題は少なく、原理や現象を物理的に正しく解釈するタイプの設問が増えた結果、センター試験に比べて、負担感はより大きかったと考えられます。
- センター試験では見られなかった出題形式の問題が出題されたものの、ほぼ2020年度までのセンター試験の形式を踏襲した出題が中心でした。
- 共通テストはセンター試験のほぼ延長上にあると考えてよく、その対策も従来のセンター試験対策同様に、基本事項を中心に全範囲をもれなく学習することが肝要です。ただし、法則を当てはめて計算式を解くという練習より、見慣れない現象に法則を当てはめたり、法則の成り立つ理由についての基本事項を確認しておくことが大切です。

出題内容

大問	形式・分野	難易度		
		やや易	標準	やや難
1	小問集合		●	
2	電磁気		●	
3	波動・原子			●
4	力学		●	

パワーマックスについて

編集方針

- 2021年度本試験に合わせた形式の模試を中心に、過去2回の試行調査に合わせた形式の模試を加え、計5本掲載
- さまざまな出題形式に対応できるよう、最新の本試験だけでなく、試行調査で出題された形式も盛り込んだ**Z会オリジナル問題**

書籍の特長

- 試行調査や共通テスト本試験の傾向を踏まえ、全5回すべてで、**原理・現象や実験に対する考察を問う問題を出題**しています。
- 有効数字を意識した形式の数値問題、1つの問中で複数のマークがある問題など、共通テストの形式に則って出題しました。また、すべての回で**解答番号は全問通し番号**としてあります。

パワーマックス 物理 出題一覧

	大問	出題内容	解答 目安 時間	難易度	
				やや 易	やや 難
第1回	1	小問集合	15分		●
	2	電磁気	15分	●	
	3	波動・熱力学	15分	●	
	4	力学	15分	●	

	大問	出題内容	解答 目安 時間	難易度	
				やや 易	やや 難
第2回	1	小問集合	15分		●
	2	電磁気	15分		●
	3	波動	15分		●
	4	力学	15分	●	

第3回	1	小問集合	15分		●
	2	電磁気	15分	●	
	3	波動・熱力学	15分	●	
	4	力学・原子	15分		●

第4回	1	小問集合	15分	●	
	2	電磁気	15分		●
	3	波動・熱力学	15分		●
	4	力学	15分	●	

第5回	1	小問集合	15分		●
	2	電磁気	15分	●	
	3	波動・熱力学	15分	●	
	4	力学	15分		●